



千歳市立祝梅小学校 学校だより

言葉を操る力を持つ子どもの育成
～読解力 UP 発信力 UP 協働力 UP～

祝梅

令和2年12月25日発行

『すくすく のびのび』

第10号

みとめ合い まなび合い たかめ合い きたえ合う 祝梅っ子



「あいさつの言葉」～上手な伝え方～

千歳市立祝梅小学校 校長 橋本 由美

登校してくる子どもたちの頬や耳が、寒さで赤くなっています。明日から、無事に冬休みに入ることができます。感染症拡大が収まらない中、子どもたちの学びを継続するために、工夫をしながら進めてきました。保護者の皆様が、学校を励まし支援してくださり、教職員一同、前向きに指導をすることができました。ありがとうございます。

先日は、「学校アンケート」の提出ご協力ありがとうございました。その中で、保護者の皆様の思いのひとつに、「あいさつができる子」という記載が多くありました。

【お子さんの様子はどうですか】

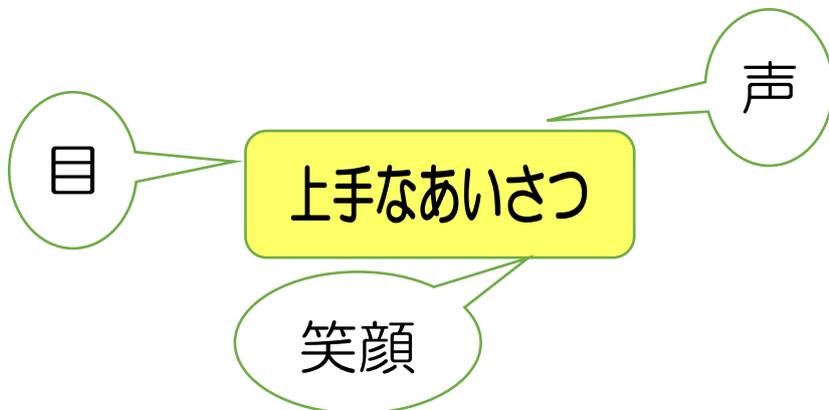
Q1：「おはよう」と言って起きて来ますか

Q2：食事のとき「いただきます」「ごちそうさま」と言っていますか

Q3：出かけるとき「行ってきます」と言っていますか

Q4：「はい」・「ありがとう」をすぐ言っていますか

多分、ほとんどのお子さんは、このようなあいさつの言葉を言えていると思います。そして、ご家族も自然に言っています。つまり、保護者の皆様には、もっと上手なあいさつができる子になってほしいという願いがあるのだと思います。



朝の健康観察。一人一人とあいさつを交わしながら、健康観察カードを確認しています。

マスクをしているので、大きな声を出せなくても、相手の目を見て笑顔であいさつができる子になってほしいと思います。あいさつは、お互いにするものです。子どももおとなも一緒です。あいさつをすると心が開き、言われると嬉しくなります。

年末年始、ご家族で過ごす中で、「家族が幸せになれるあいさつ」を伝え合ってください。皆様、お体には充分気を付けて、よいお年をお迎えください。

今月のことば「のこす」

今年度は、学芸発表会に代わり「祝梅っ子ギャラリー」と題して、日常の学習成果を展示会として体育館に一堂に集め、保護者の方々にもご覧になっていただく行事を実施しました。感染症予防を考慮し、受付での記名や検温へのご協力ありがとうございました。お帰りの際には、感想も記入いただき、児童のこれまでの学びへのエールが寄せられました。あたたかい空間をここに作れたことに、改めて感謝申し上げます。これまでの当たり前や日常が見直された令和2年の学びでしたが、感染症予防と両立して学校教育を積み上げてきたことの一端が、保護者の皆さまにも伝わる機会になっていれば幸いです。



実施前日。児童の作品作り。スタッフの会場作り。
学びのあしあとをご覧いただこうと、児童とスタッフが力を合わせて準備しました。



保護者公開日当日。PTA 役員による、受付業務。記名と検温へのご協力を感謝。
中でも動画コーナーは大人気。注目の絵画にカメラを合わせる保護者の姿も。



今日は楽しみにして来た甲斐がありました。我が子が日々一生懸命、活動に取り組んでいるんだと感じられました。あと、やっぱり6年生の作品が素晴らしい！今日は本当にありがとうございました。

ビデオ上映はホームページで見られるようにすると密にならないかと思いましたが、(パスワード設定で)

去年までとは違って学校での子ども達を見る機会は減ってしまいましたが、今までと違う形でもこうして成長が感じられる展示に触れられて、すごく良かったです。

保護者の声。児童へのエールに感謝

本日、保護者の皆さまにご案内文書を配付しました。
少し準備の時間をいただき、後日公開予定です。

当日の保護者ご来場者は、全体の8割弱にもなりました。あたたかい時間を共有できたこと、感謝申し上げます。

児童の作品を通して、児童、保護者、スタッフが繋がった、今回の「祝梅っ子ギャラリー」でした。つながりを残し、作品を残し、そこで得られた充実感や感動を力に変えて、祝梅っ子はまた一歩前進します。



翌日は、児童公開日。テーマやねらいをもったの見学を実施。
下級生にとっては、未来の自分を見つめる時間にもなりました。



今年もカレンダー配付



あさがお学級では、毎年この時期、手作りの版画カレンダーを制作しています。お世話になっている方々に感謝の気持ちを込めて手渡しするカレンダーは、職員室や校長室などにも毎年掲示され、本校に残るよき伝統になっています。

今年度も児童から校長先生にカレンダーが手渡されました。令和3年が実りあるものになりますよう、カレンダーを見ながら祈ります。

「男女共同参画社会づくり標語コンクール」優秀賞

6年生で取り組んだ「男女共同意識の大切さ」。その学びの成果を標語として作成し、このたび表彰を受けました。



男女の輪

世界をこえて

広がる未来

残る 学びのあしあと



毎年千歳市の小中学校の作品が一堂に会し、作品展を実施しています。書写や図工の作品が並び、日常の学習成果をアピールしました。

教育作品展 千歳市民ギャラリーにて実施

薬物乱用防止教室



今年度も、千歳中央ライオンズクラブ様による「薬物乱用防止教室」が6年生を対象に実施されました。薬物に関わるクイズに取り組んだり、誘惑にあらがうための言葉を練習したりと、身近に迫る危機を自分事として記憶に残す、良い機会となりました。

ダメ ぜったい!

ボイラー改修 完了

校舎ボイラーの改修工事が完了。この工事は防衛施設周辺設備防音事業（防衛省補助）として行われました。



小中一貫 「青葉っ子スタンダード」アンケート

～ねばり強さが 課題

青葉中校区では「自己ベスト」「Little Smile」「愛ある人」をスローガンに、9年間の児童生徒のゴールを設定しています。同一母集団での昨年度と今年度のアンケート結果では、「挨拶」の大切さを理解している本校児童ですが、特に目標達成に立ち向かう「ねばり強さ」が課題となっています(グラフ参照)。今後も9年間を見つめた学校教育を推進していきます。

感謝の気持ちをこめて「ありがとう」を言っている。

昨年小5と今年小6(14)

0% 20% 40% 60% 80% 100%



自分が決めた目標を達成できるよう、ねばり強く努力している。

昨年小5と今年小6(3)

0% 20% 40% 60% 80% 100%



年始は 1月4日(月)まで 学校閉庁日
教職員が休養を取りやすい環境を整備し、心身の健康を保持することを目的に、学校閉庁日を設定しております。12月29日(火)~1月4日(月)の期間は、基本的に職員が不在になりますのでご了承ください。

チャレンジ教室 1月13日(水)&14日(木)

本年度エントリーのあった児童が対象です。当日は「健康観察シート」で検温の記載があった児童のみの入室となります。健康面に配慮したうえで参加するよう、ご家庭での健康観察をお願いします。

子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談してください。

●電話相談

☎ **0120-3882-56**
(無料、毎日24時間対応)

●メール相談

✉ doken-sodan@hokkaido-o.ed.jp
※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

●来所相談

(10~16時、土日・祝日、年末年始はお休みです。)

子ども相談支援センター

札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階
※上記の電話相談で予約してください。

※ センターのWebページに、「子ども相談支援センターへの相談事例」を掲載しています。次のURLからご覧ください。
URL:<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/soudanjirei.pdf>

北海道教育委員会からのお知らせです。児童が学校生活から離れ、家庭中心の生活となる冬季休業を迎えます。改めて、保護者の皆さまに「子ども相談支援センター」の相談窓口を周知いたします。

じゅっくりステージのゴールを迎え、1月から「しゅかりステージ」へ進みます。それぞれの進級や中学入学に向けて、大事な助走期間となります。学び合う仲間を大切に、自分自身や他者の健康にも気遣いながら、1月の学びを積み重ねていきます。感染症対策と両立しながらの教育活動にご協力ください。

1月の予定

日	曜	行事
1	金	元旦 学校閉庁日
2	土	学校閉庁日
3	日	学校閉庁日
4	月	学校閉庁日
5	火	口座再振替日
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	成人の日
12	火	
13	水	チャレンジ教室① P)クローバー活動日
14	木	チャレンジ教室② 転入生受付
15	金	
16	土	
17	日	冬季休業終了
18	月	午前授業 令和3年はじまり集会 給食なし 12:15 完全下校
19	火	冬休み作品展(~22) 図書返却(低学年) 心の教育相談
20	水	フツ化物洗口
21	木	選挙管理委員会① 図書返却(高学年) 心の教育相談
22	金	ALT 富丘中入学説明会(保護者のみ) P)役員選考委員会
23	土	
24	日	
25	月	ALT 口座振替日 心の教育相談 委員会⑥ 選挙管理委員会② 図書の森開館
26	火	心の教育相談
27	水	フツ化物洗口 P)パステル読み聞かせ(5年)
28	木	心の教育相談
29	金	ALT 青葉中入学説明会(児童のみ) スクールカウンセラー
30	土	
31	日	

12月の終わり。職員室から…

今年一番売れた商品は「マスク」。流行語は「3密」。そして今年の漢字は「密」。/ 感染症対策に追われた令和2年。多くの人が「密」を意識しながら行動し、学校教育にも大きな影響がありました。/ 新しい生活様式のもと、本校では、映像を通して会議や研修を行う職員も増え、バーチャルに他者と出会う機会が生まれました。物理的距離がある中でも「密」になることを模索した1年にもなりました。/ 距離をとる中で大切なことは、『言葉を大切に扱って他者と接すること』だと気づかされます。「言葉を操る力を持つ子どもの育成」を重点教育目標にしたこの1年。国語科の授業研究、言語活動の充実、新聞DAYの実施など、言葉の環境を整えることにスタッフは尽力しています。/ 言葉は、「心」の発露。児童が豊かな「心」をもつためには、経験や出会いを積み、学びに向かう気持ちをさらに醸成させたいものです。今後もスタッフ一同、児童を「密」に見つめ、教育活動に取り組みます。/ 「密」は「厚い」という意味ももちます。「厚」は「豊か」。令和3年、豊かな年になりますように。どうぞよいお年をお迎えください。